

和歌山県白浜町で採集されたカラスキセワタガイ（後鰓亜綱，頭楯目，
カノコキセワタガイ科）のまれにみる巨大個体

久保田 信*・大塚 攻**・濱谷 巖***

Shin KUBOTA, Susumu OHTSUKA and Iwao HAMATANI: A rare giant specimen of *Philinopsis cyanea* (MARTENS) (Opisthobranchia, Cephalaspidea, Aglajidae) from Shirahama, Wakayama Prefecture, Japan

1996年1月6日，田辺湾の南側の湾口部付近の海岸で，非常に大型のカラスキセワタガイ *Philinopsis cyanea* (MARTENS) の1個体がスキンドビングによって採集された。採集場所は，京都大学瀬戸臨海実験所の北側の浜の潮下帯で，水深2mの転石上である。この個体は，実験室で写真撮影の後（図1），硫酸マグネシウムで麻醉しホルマリンで固定し保存した。

生体は比較的良好に伸長した場合，体長が約10cmの円筒形。体の地色は濃い黒紫色。頭楯の背面には橙褐色の不連続線が2本縦走し，同色の不連続線が左右の側足の縁に沿って1本ずつある。後者の不連続線は前者より太い。さらに，同色の縁取りが，頭楯や尾にも見られる。また，側足や頭楯を含めて体の表面には黄灰色で不定形の最大長数mm程度の斑紋が散在する。頭楯，側足，尾の周縁には青い蛍光色を呈する部分がある。

上記の特徴は，濱谷（1992，1994）による記載および図や図版（写真）と一致した。しかし，本個体の体長は10cmにも達し，これまでの記録（30mmあるいは50mm）の数倍のまれにみる巨大個体である。

本種は，その後，白浜町番所崎周辺海域からは採集されていない。

なお，COLIN and ARNESON（1997）は，フィリピン，セブ島産の斑紋がない個体を本種として写真で示している。

引 用 文 献

- COLIN, P. L. and ARNESON, C. 1997: in Tropical Pacific Invertebrates, p. 176. Coral Reef Press, USA.
濱谷 巖. 1992: 後鰓亜綱. in 西村三郎 編著, 日本

海岸動物図鑑 [I], p. 269. 保育社, 大阪.

———. 1994: ウミウシ類. in 奥谷喬司 編著, 海辺の生きもの (山溪フィールドブックス8), p. 158. 山と溪谷社, 東京.



図1 和歌山県白浜産カラスキセワタガイの巨大個体（背面図）。

Fig. 1. A giant specimen of *Philinopsis cyanea* (MARTENS) from Shirahama, Wakayama Prefecture, Japan (dorsal view).

* 京都大学瀬戸臨海実験所（〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町臨海459）

** 広島大学水産実験所（〒725-0024 広島県竹原市港町5-8-1）

*** 〒596-0045 大阪府岸和田市別所町2-18-24

* Seto Marine Biological Laboratory, Kyoto University, Shirahama, Nishimuro, Wakayama 649-2211, Japan

** Fisheries Laboratory, Hiroshima University, 5-8-1 Minato-machi, Takehara, Hiroshima 725-0024, Japan

*** 2-18-24 Bessho-cho, Kishiwada, Osaka 596-0045, Japan